

査読ガイドライン

日本看護教育学学会

日本看護教育学学会は、学会誌「看護教育学研究」に採用する論文の質保証を目的として、査読を行います。査読者は、著者に対し「善行」と「公正」の倫理原則に基づき行動する責務を有しています。以下の点に留意して査読をお願いいたします。

1. 査読の諾否と実施方法

編集委員会が指定した期日までに査読し、必要な書類を返送してください。また、倫理的理由等の理由により査読を担当すべきではないと考えたり、指定期日までの査読が困難となった場合には、送付された書類を、至急、事務局まで返送してください。

2. 査読の方針

以下の方針に沿って査読してください。

- 1) 査読者は、著者が論文に関連する研究内容に精通していることを十分に理解し、それを尊重した上で査読する。
- 2) 査読者は、論文の内容上の問題を指摘するだけでなく、改善に向けての有用な示唆となるよう具体的に批評する。
- 3) 査読者は、論文の内容に対し、査読者の見解と一致しない、査読者自身の研究と競合する、あるいは相反する等の理由により採否を決めてはならない。
- 4) 査読者は、著者が設定したデザインや研究方法について査読し、その背景にある著者の価値観や信条までも批評しない。
- 5) 査読者は、査読を通して知り得た内容や査読を担当したこと、その結果に関する秘密を厳守する。

3. 日本看護教育学学会会誌査読基準

日本看護教育学学会会誌査読基準は、別紙に定めるとおりです。

4. 査読の方法

- 1) 「日本看護教育学学会査読基準」に基づいて査読してください。
- 2) 査読結果及び査読内容は、すべて「査読結果報告書」に記入してください。
- 3) 原則として、第1回の査読において改善を要する点をすべて指摘してください。
- 4) 「日本看護教育学学会会誌投稿の手引き」を必ず参照してください。

5. その他

- 1) 査読結果が「査読結果報告書 2)修正が必要」の場合には、修正後、再度、査読を依頼することがあります。
- 2) 1論文を複数の査読者が担当します。また、編集委員会は、その結果を受けて著者にコメントを付け加えることがあります。